

京浜急行電鉄株式会社

取締役社長 原田 一之 様

沿線区民の移動利便性確保についての要望書

大田区

日頃より大田区行政に対し、格別なご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

また、新型コロナウイルス感染の中で、感染防止対策やホームドアの設置など、利用者の安全安心のために不断に取り組んでいただき感謝申し上げます。

さて、貴社の品川駅から京急蒲田駅間の普通列車については、新型コロナウイルス感染の対応を理由として、令和2年5月9日から日中時間帯の普通列車が運休しております。

この列車について、度々沿線の区民から運行再開の要望が寄せられておりましたが、今年春のダイヤ改定で運休中の普通列車について正式に減便を行うとお聞きしました。

ご存じの通り、かつて平成22年5月16日ダイヤ改定の際、新たに設置された「エアポート快特」が京急蒲田駅通過となりましたが、その後、平成24年10月21日のダイヤ改定で「エアポート快特」が減便となり、京急蒲田駅に停車する「快特」の本数が増加した経過があります。

「快特」の増加は日中時間帯に存在した品川から京急蒲田間の「エアポート急行」が「快特」に変更されたことによるものですが、これに伴い、品川駅から京急蒲田駅間の普通列車が1時間当たり3本増発されており、沿線区民への配慮をいただいた結果と認識しておりました。

しかし、今回発表のダイヤ改定は、この普通列車を正式に減便するものであり、沿線区民への影響が非常に大きいと考えております。

つきましては、この状況をお汲み取りいただき、今後は沿線区民の移動利便性の確保に特段のご配慮をいただけるよう要望いたします。

令和3年1月27日

大田区長

松原 忠義

